



# The 5th Decorated Terra-cotta Concours

《屋根・庭のオブジェ》

## 第5回 飾り瓦 コンクール

応募期間

平成21年12月1日～22年2月1日

主催：

「飾り瓦コンクール」実行委員会

実行委員会構成団体：

全国陶器瓦工業組合連合会

愛知県陶器瓦工業組合

三州瓦工業協同組合

愛知県鬼瓦技能評価認定協議会

三州鬼瓦製造組合

三州鬼瓦白地製造組合

三州瓦伝統技術保存会

高浜市やきものの里かわら美術館

協力：

碧南市藤井達吉現代美術館

後援予定：

経済産業省 文化庁

愛知県 高浜市 碧南市

(社)全日本瓦工事業連盟

全国いぶし瓦組合連合会

高浜市商工会 碧南商工会議所

中日新聞 朝日新聞 読売新聞 毎日新聞

中部経済新聞 日本屋根経済新聞

キャッチネットワーク (順不同)

協賛：

三州瓦白地組合 三河製土協力会

西三粘土協同組合 三州釉薬原料協会

日本鬼師の会

高浜市観光協会 碧南市観光協会

三河陶器協同組合

全愛知県赤煉瓦工業協同組合 (順不同)

# The 5th Decorated Terra-cotta Concours

《屋根・庭のオブジェ》

## 第5回 飾り瓦コンクール

## 応募方法について

**課題** 高さ・幅・奥行きともに50cm以内とした、屋根・庭園・室内などに設置可能な「飾り瓦」とします。

**厳守事項** 対になるような組作品は、2個までとします。  
対で、高さ・幅・奥行きともに50cm以内に納まるようにして下さい。  
焼き物作品以外(木の台・造花・電球など)は、提出しないで下さい。

**応募資格** 瓦製造業者・一般社会人・学生(美術・陶芸・彫塑などの専攻)

**応募登録** 作品の提出、「応募用紙」の提出、登録料の納付をもって、正式応募者として登録します。  
登録料 …… 1作品 2,000円  
振込みの場合は、下記宛にお願いします。  
岡崎信用金庫 高浜支店 普通預金 3163880  
飾り瓦コンクール実行委員会会計 神谷 晋

**材料代** 作品制作用粘土を希望の方は、約15kgをお送りしますが、材料代・送料として3,000円を申し受けますので、希望者は事務局までお申し出下さい。

**応募用紙** 応募の方は、用紙を切り取って提出、または送付して下さい。

**作品提出** ① 提出受付期間は、平成21年12月1日～22年2月1日の間(土・日・祝日・年末年始休みを除く)、「飾り瓦コンクール事務局」で受け付けます。(郵送などの場合は、期限消印有効)  
② 「応募用紙」に記載の上、登録料を添え、「飾り瓦コンクール事務局」まで、焼成した状態の作品を提出して下さい。  
なお、応募者本人で焼成できない場合は、「飾り瓦コンクール事務局」で焼成を代行します(作品(粘土)は十分に乾燥した状態で提出)ので、「応募用紙」にその旨、記入して下さい。  
③ 焼成依頼のあった作品の焼成・管理には細心の注意を払いますが、不可抗力による作品の損傷などについては、責任を負いかねますので、予めご了承下さい。宅配便などで作品を送付されますと、破損の可能性がありますので、できる限り応募者本人が直接ご持参下さい。遠隔地など、やむを得ず送付される方は、梱包には充分注意して下さい。

**作品引取** 平成22年2月23日(火)以降となります。

**焼成希望** 作品焼成を希望される方は、「焼成方法」の選択ができますので、希望方法を「応募用紙」に明記し、提出締切日(22年2月1日)の2週間前まで(22年1月15日頃)に提出して下さい。  
① いぶし — いぶし銀色  
② 素焼き — 粘土を焼成しただけの赤っぽい色  
③ 釉薬 — 黒色か茶色(希望色を選択して下さい)  
なお、作品は乾燥段階・焼成段階で、合わせて約10%ほど収縮しますので、ご承知おき下さい。

**作品審査** 22年2月6日(予定)に実施します。「伝統技術部門」および「現代陶芸部門」に分けて審査しますので、「応募用紙」の「応募区分」を必ずご選択下さい。

**審査委員** 名古屋芸術大学教授……………神戸峰男  
名古屋造形大学教授……………坪井勝人  
愛知県立芸術大学教授……………大塚道男  
陶芸家……………神谷英介  
陶芸家……………森 克徳  
高浜市やきものの里かわら美術館館長……………井口喜晴  
碧南市藤井達吉現代美術館館長……………木本文平  
鬼師……………梶川亮治  
鬼師……………加藤元彦

**賞** 大賞(グランプリ)……………1点——賞状・賞金20万円  
伝統技術優秀賞……………1点——賞状・賞金10万円  
現代陶芸優秀賞……………1点——賞状・賞金10万円  
高浜市長賞……………1点——賞状・賞金5万円  
碧南市長賞……………1点——賞状・賞金5万円  
特別賞……………数点——賞状・賞金1万円

**作品展示** 平成22年2月16日(火)～2月21日(日)  
高浜市やきものの里かわら美術館  
444-1325 愛知県高浜市青木町九丁目6番地18  
tel: 0566-52-3366 fax: 0566-52-8100  
<http://www.takahama-kawara-museum.com/>

**表彰式** 展示会初日の開会式内にて、2月16日(火)午前10時より、高浜市やきものの里かわら美術館で開催しますので、入賞者をご参加下さい。

**お問い合わせ** 飾り瓦コンクール事務局  
444-1323 愛知県高浜市田戸町一丁目1番地1  
愛知県陶器瓦工業組合内  
tel: 0566-52-1200 fax: 0566-52-1203  
<http://www.kawara.gr.jp>



第4回伝統陶芸優秀賞 / 井戸理陽

# The 5th Decorated Terra-cotta Concours

《屋根・庭のオブジェ》

## 第5回 飾り瓦 コンクール

### 応募用紙

整理番号		審査番号	
応募者氏名	ふりがな ----- 男 女 ( 歳)		
作品名	ふりがな -----		
応募区分	どちらかを ○で囲んで 下さい。 伝統技術部門 現代陶芸部門		
応募者住所	〒 — 電話 — —		
職業・勤務先 学校名(専攻学科)	( ) 連絡先電話 — —		
焼成希望	有り 無し		
焼成方法	① いぶし焼成 ② 素焼き ③ 釉薬焼成( 黒色 茶色 )		
作品コンセプト (簡単にお書き下さい)			

- 応募につきましては、①[作品]と②[応募用紙]の提出、  
③[登録料]の納付をもって、正式応募者として登録します。

- 整理番号・審査番号欄以外は全てご記入下さい。
- 住所・氏名・電話などを公開不都合の方はお申し出下さい。
- 応募作品の肖像権は、次回開催まで実行委員会に所属するものとします。

## 飾り瓦制作上の諸注意



第4回高浜市長賞 / 加藤翔子



第4回日本慶根経済新聞社賞 / 因 章悟

### 準備

#### ① 粘土

- 制作する作品の大きさに応じた粘土量があるかどうかを確認する。

目安: 50×50×50 cmならば——15kg 程度

- 作品の大きさは上記寸法で制作しても、焼成後10%程度小さくなることを予めご承知おき下さい。

#### ② 制作用下板

- 制作する作品よりひと廻り大きめの板を用意し、以後の作業は焼成まで、この板の上で進めていただくと便利です。

#### ③ 道具

- 木べら・金べら・かきやぶり(なければフォークでも可)

### 粗作り

- 作品の外形を作ります。粘土は塊のままでは乾燥時、焼成時に割れる可能性が大きくなります。これを防ぐためには、中空構造とし、肉厚をできるだけ均一に仕上げてください。肝要です。

目安: 20~25mmが適当です。

- 密閉構造では焼成時に破裂してしまう恐れがありますので、作品の下端・裏面などに直径30~50mm程度の空気穴を複数開けておくとい良いでしょう。
- 土と土の部品を接合する場合には、かきやぶり(フォークでも可)で双方の接合面を格子状に刻み、刷毛などで水を付けて密着させて下さい。焼成時に破損する恐れがありますのでご注意下さい。

### 一次乾燥

- 「粗作り」が終了したら、3日~1週間程度、一次乾燥させます。乾燥に関しては、作品に直接風が当たらないように注意する(切れやすくなるのを防止する)とともに、直射日光を避け、「日陰干し」をして下さい。

### 仕上げ

- 一次乾燥が終了したら仕上げにかかります。道具を利用して、作品を仕上げてください。

### 二次乾燥

- 作品が完成したら、焼成前に2~3週間自然乾燥させます。乾燥の注意事項は、一次乾燥の時と同様です。

### その他

- 三河土で自ら焼成する場合は、1100℃前後で焼成して下さい。



第4回読売新聞社賞 / 関根祥平



第4回応募作 / 梶川俊一郎